

| | |
|------|----------------|
| 発生箇所 | ④コンクリート版端部 |
| 分類 | 設計 |
| 参考箇所 | 4-4-1 目地の分類と構造 |

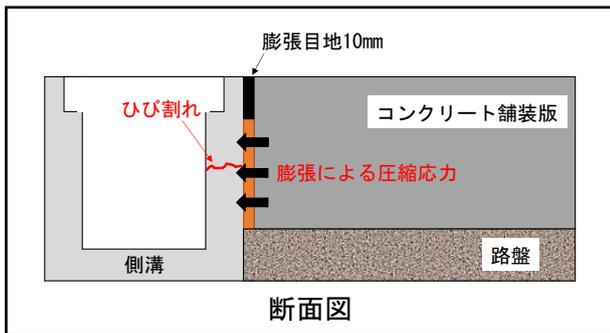
●内容

- ・約 100m 間隔で横断側溝を配置する設計の普通コンクリート舗装工区を厳冬期に施工したが、夏季になり横断側溝にひび割れが生じた。
- ・側溝の側面には厚さ 10mm の目地板設置が設計されており、設計通り施工された。



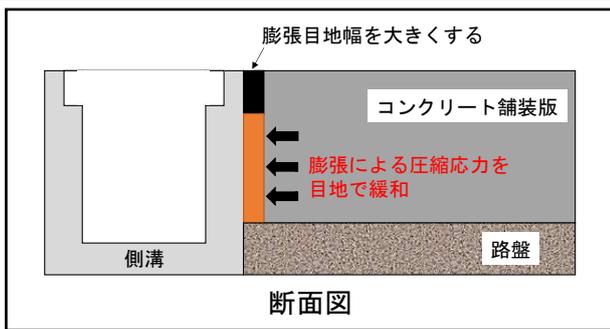
●原因

- ・横断側溝の側面に設置された厚さ 10mm の目地板では、厳冬期から夏季にかけてのコンクリート版の膨張を吸収しきれなかった。



●発生防止策

- ・厳冬期の施工から夏季にかけてのコンクリート版の膨張で構造物の破損が予想される場合には、目地幅が広くなるよう設計変更を行う。



●発生した場合の対応策

- ・目地幅の変更を検討して、構造物の撤去および再設置を行う。

